

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	株式会社セントラルヨシダ
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県あま市森1-4-1
工場等の名称	株式会社セントラルヨシダ 名古屋工場
工場等の所在地	愛知県名古屋市中川区富船町1-1
業種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	金属製品製造業
計画期間	平成34年4月1日 ～ 平成37年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	平成36年7月31日 ～ 平成36年10月29日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 工場
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-442-2642		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は企業活動を進めていく上で、地球環境問題を経営の重要課題として位置付け、生産、販売、サービスのあらゆる面で環境保全への取り組みを積極的に推進し、地球環境に優しい素材産業を目指します。

- ・地球温暖化抑制のため、省エネルギー活動を推進します。
- ・資源の有効活用を図る為、産業廃棄物の削減とリサイクル化を指向します。
- ・全従業員に対して、社内教育、広報活動を通じて周知徹底を図ります。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

社長

↓

名古屋工場・エネルギー管理員

↓

各部門社員

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,381	t-CO ₂
（温室効果ガス除く炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,381	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	171.3	kg-CO ₂ / t	170.4	kg-CO ₂ / t	124.4	kg-CO ₂ / t	143.5	kg-CO ₂ / t		kg-CO ₂ / t
削減率（対 基準年度）			0.5	%	27.4	%	16.2	%		%
原単位あたりのみなし排出量						kg-CO ₂ / t		kg-CO ₂ / t		kg-CO ₂ / t
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

生産量の増加によりエネルギーの使用量も増加している。 甚目寺、名古屋工場間の生産アイテムの見直し変更により生産効率が向上し、成果が出ている。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進	甚目寺工場と名古屋工場で生産アイテム効率化	各種設備の運転効率改善による省エネルギー化を図る。	甚目寺工場に新設されたSTC炉を活かして生産工程の見直し（生産アイテムの見直し）を行い生産効率の改善を継続実施した。
省エネルギー・省資源の推進	照明設備のLED化、オンオフ管理	省エネルギー化	現場作業員に省エネの意識付けをして、電源オンオフ管理を徹底させた。
省エネルギー・省資源の推進	エアコンの更新、温度管理	省エネルギー化	省エネの意識付けをして、電源オンオフ管理、温度設定を徹底させた。
省エネルギー・省資源の推進	コンプレッサの更新、エア漏れ対策、圧力調整	使用エネルギーの管理	エア漏れの調査対策を進めている。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

省エネの意識付けをして、電源オンオフ管理、エアコン温度設定を徹底させた 廃棄物の排出抑制（両面コピー、裏紙利用等による紙使用量の削減の継続）

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

生産調整や工数改善により残業時間を抑制
